

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

帰国後 15 日以内に提出してください。
提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	National University of Singapore (国名:シンガポール)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Arts and Social Science	
留学期間	2010 年 08 月 ~ 2011 年 05 月	
学部 / 学府・年次	21 世紀プログラム課程	3 年次 ~ 4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	無 (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に 印をつける)	1. 4 年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	12 月に一時帰国して就活セミナーに参加しました。しかし、その時点ではまだ就活モードではありませんでした。震災後に多くの企業が採用活動を 6 月からに遅らせると決めてから本格化しました。帰国する前から、就活中の友人に協力してもらって情報収集し、ES を書き始めていました。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 2012 年 4 月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で 1 と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	就活時期:2010 年 12 月~2011 年 6 月(ただし、本格化は 3 月から) 方法:就活をしている友人に大変お世話になりました。あとは、直接企業のホームページを見て情報収集。ES の書き方なども友人とネットに助けられました。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	大きく影響しました。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	かなり役に立ちました。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	シンガポールに行った利点を生かせるよう、中国語と、アジア太平洋地域の国際関係論に関する授業を取っていました。大学では英語が使われるのですが、やはり一歩授業から離れると中国語に出会うことは多くなり、中国語を学ぶことは理に適っていました。アジア太平洋地域の国際関係論は、シンガポール大学にはそれらの地域からの留学生が多く、また授業も政治学科はもちろん、日本研究学科もありますので、日本と絡めて勉強したかった自分にとってこの上ない環境で学ぶことが出来ました。 どの授業にも、レクチャーとチュートリアルという二種類が入っています。具体的には、Faculty of Arts and Social Science においては、中国語などの言語の授業は一週間に 2 コマレクチャーと 1 コマチュートリアル、他の授業は一週間に 1 コマレクチャーと 2 週間に 1 コマチュートリアルという構成になっています。(1 コマ 105 分です。)九大経済学部为例えたと、レクチャーは普通の講義、チュートリアルはゼミです。ですが、一コマあたりの予習や復習に必要な時間は、NUS の方が相当多いと思います。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面 / 勉学面 / 精神面 / 住居・生活面など)</p>	<p>・語学面 シンガポール大学は、英語が話せない人もたくさんいる国の、英語が母語でない留学生の比率が高い大学です。そのため、英語が苦手な人の英語をちゃんと聞く文化が教員にも学生にも備わっているように感じました。留学生のための特別な英語の講義はなく、留学前にきちんと英語を勉強しておくことは重要ですが、英語が苦手な人が生活の中で英語を練習するのには良い環境だと思います。あと、中国語ができると、中国系シンガポール人や中国人から喜ばれます。</p> <p>・勉学面 先ほども書いたように、チューターがどの授業にも必ずいるので、分からなければメールなどですぐに質問できます。予習・復習など大変ですが、キャンパス内には図書館やベンチが至る所にあり、勉強に集中できるような環境が整っています。</p> <p>・精神面 勉学などでストレスを感じる機会が多いので、精神面のサポートはしっかりしていると思います。Faculty of Arts & Social Science のあるキャンパス内には、気軽にコンサルティングを受けられるクリニックと大学病院があります。</p> <p>・住居/生活面 King Edward 7 Hall という、大学内にある寮に住んでおりました。伝統ある寮で、設備は古かったのですが、寮内の活動が盛んで、友人をたやすく作ることが出来ます。他にも5つほど寮があり、入りきらない場合はPGPというアパートに入ることが出来ます。キャンパスから街に出るのはバスと地下鉄を使えば容易にできるので、生活に困ることはありません。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>競争が激しい 成績は相対評価、就職において成績が重視される、シンガポール政府からの留学生への奨学金は成績が悪ければストップする、といった理由で、良い成績を巡る競争にはすさまじいものがあります。ただし、図書館のテスト前の24時間開放、豊富な文献の詰まった図書館、質問に答えてくれるチューターが必ずいる、など、勉強したい学生にとっては十分な設備と機会が用意されています。</p> <p>国際性豊か キャンパス内には、アジアを中心にあらゆる国から来た留学生がたくさんいます。バスの中で話されている言語は多岐にわたりますが、授業や大学からのアナウンスはすべて英語。もちろん、大学内の人は全員英語が話せます。世界中に友達を作りたい人には申し分のない環境です。</p> <p>綺麗で開放的 キャンパスは景観を美しく保たれており、大学ならではの閉鎖性はみじんも感じられません。私はストレス解消のため、夜はよくキャンパスをぐるっと一周回っていました。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>渡航前に必ずすべきこと、それはこの留学の意味を自分なりにしっかりと定義することです。なぜわざわざ留学するのか。正直、留学先では辛いこともあるし、九大にいてもできることも山ほどあります。その事実がぶつかった時に、辛いことを乗り越え、九大にいてはできないことを自分に選択させるのが、この最初の作業だと思います。難しいことではありません。自分の中で目的を持てれば良いのです。</p> <p>さて、勉強はとにかく大変ですが、そこは腰を据えて頑張ってみてください。私は前学期は大したことのない成績でしたが、後学期でかなりアップすることが出来ました。やはり努力した分だけ、結果に跳ねかえてくると思います。英語に関しては、行く前にどれだけ上げられるか、がどれだけ留學生活を楽しめるかに直結していると言っても過言ではありません。TOEFL の点数にかかわらず、渡航直前まで英語をブラッシュアップし続けることをお勧めします。</p> <p>勉強は確かに厳しいですが、シンガポール大学の学生は勉強以外にも様々な活動に積極的に取り組んでいます。ぜひ、大学の部活動や寮のクラブ活動に参加してみてください。自分から出れば、受け入れてくれる文化がある大学です。特に日本人は少ないし、親日家の多い国なので、絶対に大丈夫です。勇気をもって新しいことにトライしましょう。</p> <p>また、個人的にお勧めするのが、留学先で気づいたこと、感じたことなどをブログなどで書き残しておくことです。留学途中、あるいは終了後に、留学当初の気持ちとか、なにをやりたいのかとか、自分を振り返りたくなるタイミングが必ずあります。ブログは、他者に見られることを意識して書くはずですので、読みやすくまとまっていて、うってつけです。もちろん、見られるのが嫌なら日記帳などで良いと思います。</p>
-------------------------------	---

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>Student Pass</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>Singapore Immigration and Checkpoints Authority (ICA)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>渡航前 大学から送られてくるメールに添付してある URL とパスワードを用いて、オンライン上で事前申請し、登録画面を印刷しておきます。</p> <p>渡航後 必要書類を用意し、大学内 OSA の担当窓口か、ICA の事務局へ直接持っていく。大学に着いてからすぐ、大学内で申請ができるようになっています。 渡航後 30 日以内に申請しなければなりません。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>約 2 週間</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>ありません。</p>

3. 日常生活

<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>とにかく、現地の友達を頼りまくれば良いと思います。現地の人の方が多くの情報を持っているのは明らかなのですから。そうする中で、友情が芽生えてくることもあるでしょう。留学した当初は、頼ってばかりで無力感を感じることもあるかと思いますが、逆にそういう体験を楽しむと、割り切っていれば良いのだと思います。誠実な対応さえ心がければ、英語力の多寡にかかわらず、喜んで力になってくれる人は多いです。留學生活を楽しむカギは、積極的に現地の人を頼ること。人に対して、物事に対して、誠実な対応をすること。この二点に尽きるのではないのでしょうか。</p>
<p>生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)</p>	<p>生活費計 5万円程度/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 22000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 10000 円、電話代: 3000 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 3000 円</p> <p>その他:(具体的に)</p> <p>交通費 5000 円 日用品 3000 円 旅行代など(月平均) 13000 円</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0 円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
<p>日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>ノートパソコンは絶対に要ります。</p> <p>ショッピングセンターは充実しているので、基本的な物なら何でも買えます。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>治安に関しては全く心配ありません。日本以上に安全な国です。ただ、マレーシアとの国境付近のジョホールバルは、シンガポールの中でも例外だと聞きましたので、行かない方が良いでしょう。</p> <p>食べるものは、現地の友人に連れて行ってもらったものが一番安くて美味しいです。ホーカーズなどは、留学生には乏しい情報を現地の人たちは持っているので、ぜひ連れていってもらおうことをお勧めします。</p>
<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>銀行は、新生銀行の口座を日本で作って行きました。どこでも手数料無料でお金が引き落とせるので、本当にお勧めです。シティバンクは手数料が高いと聞きました。</p> <p>クレジットカードは絶対に必要です。私が愛用していたのが、ライフカード(学生用)です。年会費は無料ですし、ポイントも結構高い。何より嬉しいのが、事前に海外で使用する期間を登録しておく、5%のキャッシュバックが返ってくるサービスがあることです。</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(印をつける)	寮	
住所/電話番号	King Edward Hall	
費用(月額)	約 26000 円	
どのようにして見つけたか	大学のホームページから自分で探しました。確か、大学からの案内だけでは不十分だったので、自分から催促した気がします。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	個の寮のメリットは、他の寮に比べて、静かで勉強に集中できること。デメリットは、少し設備が古いこと。正反対の、うるさくてもいいから寮の活動に積極的に取り組みたい、新しくきれいな設備を使いたい、という人は、Sheares hall をおススメします。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	寮やピックアップサービスの申請などは、渡航前にしておく必要があります。(ピックアップサービスとは、空港まで現地の学生が迎えに来てくれるサービスです。)総じて言うと、大学の案内は後手後に回ります。私の場合は、寮の案内は催促しないと来なかったですし、ピックアップサービスについての案内が来たのは現地に着いてからで、自分一人で寮までたどり着くのは本当に苦労しました。(大学内もものすごく広いのです。)ですから、遠慮せずメールや電話をバンバンして、ホームページを見ても分からないことは聞き、催促することをお勧めします。	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
NUS 留學体験記	http://d0tsd0ts1ine.blog131.fc2.com/	向こうで出会った早稲田のダブルディグリーを取得した友達が書いているブログです。授業についてや、手続きについて、人生についてなど、お得情報が満載です！
NUS	http://www.nus.edu.sg/	大学の公式ホームページです。

6. その他の特記事項		